

平成 29 年東京都人口動態統計年報 (確定数) のあらまし

1 出生

出生数は 2.7%減少

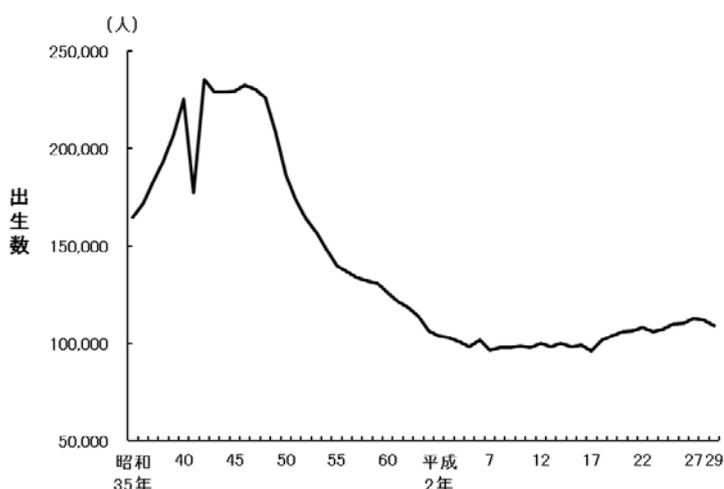
平成 29 年の出生数は 108,990 人で、前年の 111,962 人より 2,972 人 (2.7%) 減少した。人口千人あたりの出生数を表す「出生率」は 8.2 で前年の 8.5 より低下した。

【人口動態統計年報 (以下「年報」という。) 第 1 表】

全国の出生率は 7.6 で、前年の 7.8 より低下した。

【年報第 5 表】

図 1 出生数の年次推移 (東京都)



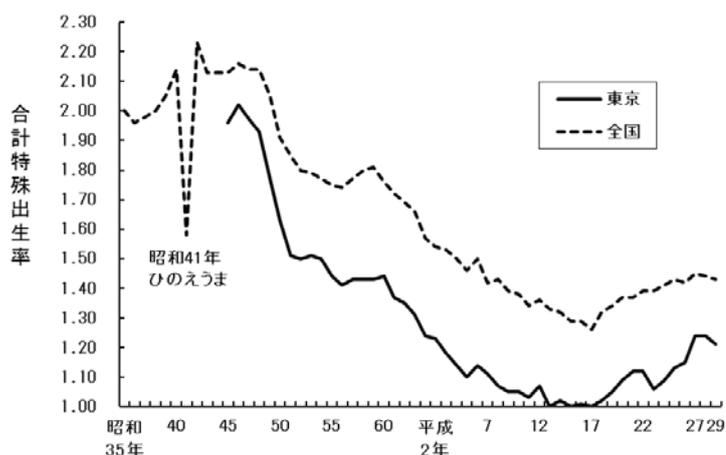
合計特殊出生率は 0.03 ポイント低下

平成 29 年の合計特殊出生率[※]は 1.21 で、前年の 1.24 より 0.03 ポイント低下した。(年報「調査の概要」の「6 利用上の注意」を参照)

【年報第 3 表】

区市町村別にみると、区部での最高は中央区 (1.42)、最低は杉並区 (1.00)、市部での最高は東大和市 (1.59)、最低は武蔵野市 (1.16)、町村部での最高は御蔵島村 (3.33)、最低は奥多摩町 (0.93) だった。(別表参照)

図 2 合計特殊出生率の年次推移



注 昭和 44 年までは、東京都の継続した数値はない

※ 合計特殊出生率

15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

1 人の女性が仮にその年の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子供の数に相当する。

なお、算出に用いた出生数の 15 歳及び 49 歳には、それぞれ 14 歳以下、50 歳以上を含んでいる。

15歳未満及び15～49歳の各階級で出生数が減少

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15歳未満及び15～49歳の各階級で減少し、50歳以上のみ増加した。

【年報第6表】

平成10年からは25～29歳に代わって、30～34歳の出生数が最多になっている。

また、30歳代の出生数は2年連続減少し、40歳代の出生数は21年ぶりに減少した。一方、全国と東京都の出生割合を比較すると東京都の30歳代及び40歳代の出生割合が高くなっている。

（表1）

図3 母の年齢別出生数の年次推移（東京都）

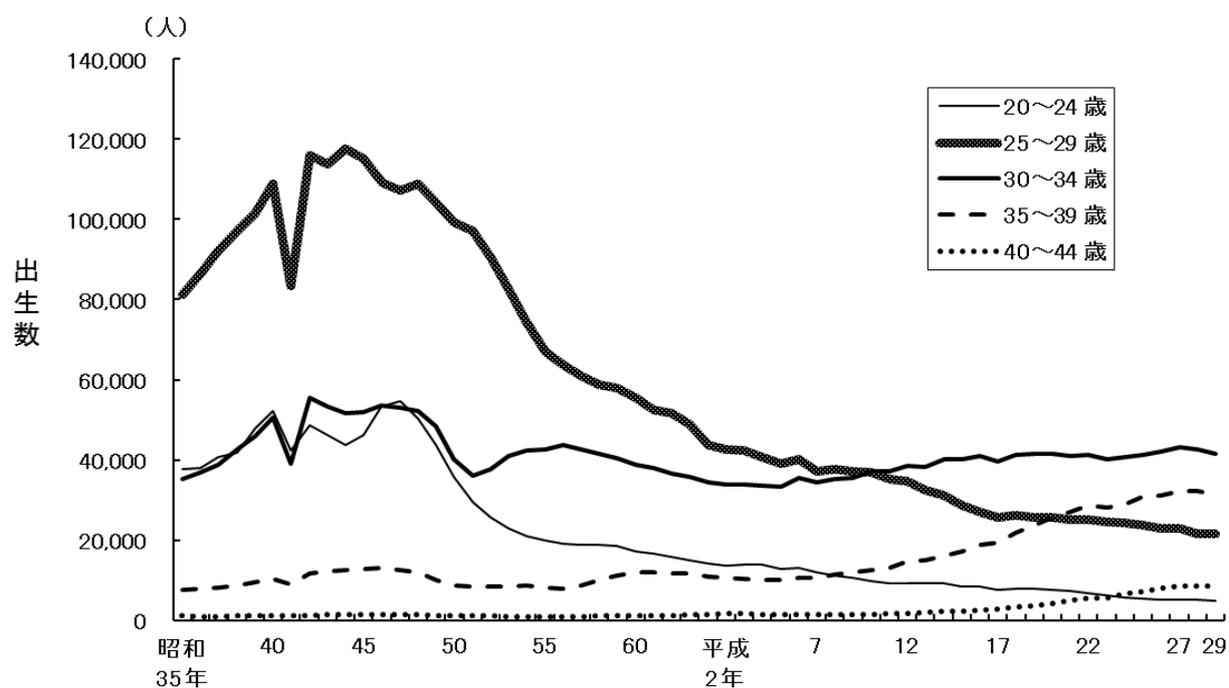


表1 母の年齢別出生数、総数に対する割合

母の年齢	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
	（出生数）								
全国	37	9,861	79,264	240,933	345,419	216,938	52,101	1,450	62
東京都	3	565	4,938	21,785	41,609	31,319	8,482	264	25
	（総数に対する構成割合 %）								
全国	0.0	1.0	8.4	25.5	36.5	22.9	5.5	0.2	0.0
東京都	0.0	0.5	4.5	20.0	38.2	28.7	7.8	0.2	0.0

全国・・・平成29年人口動態統計（確定数）の概況 第4表－(1)（厚生労働省）

2 死 亡

死亡数は 2.7%増加

平成 29 年の死亡数は 116,451 人で、前年の 113,415 人より 3,036 人 (2.7%) 増加した。人口千人あたりの死亡数を表す「死亡率」は 8.8 で、前年の 8.6 より上昇した。

【年報第 1 表】

全国の死亡率は 10.8 で、東京都の方が低い値となっている。

地域別に死亡率をみると、区部は 8.3 で東京都全体 (8.8) より低くなっている。

一方、郡部は 16.8、島部は 14.2 で東京都全体 (8.8) より高くなっており、市部は同率である。

【年報第 4 表】

また、乳児死亡数 (生後 1 年未満の死亡) は 169 人で、前年の 222 人より 53 人 (23.9%) 減少した。出生千人あたりの乳児死亡数を表す「乳児死亡率」は 1.6 で、前年の 2.0 より低下した。新生児死亡数 (生後 4 週未満の死亡) は 86 人で前年の 97 人より 11 人 (11.3%) 減少した。出生千人あたりの新生児死亡数を表す「新生児死亡率」は 0.8 で、前年の 0.9 より低下した。【年報第 1 表】

死因別死亡数は「悪性新生物<腫瘍>」が第一位

死因別にみると、死因順位の第一位は昭和 52 年以降連続で「悪性新生物<腫瘍>」である。「悪性新生物<腫瘍>」による死亡者数は 34,030 人 (29.2%) で、前年の 34,017 人より 13 人 (0.04%) 増加した。

第二位は「心疾患」(15.2%)、第三位は「脳血管疾患」(7.7%)、第四位は「老衰」(7.5%) 第五位は「肺炎」(6.8%)、となっている。

【年報第 8 表】【年報第 9 表】

全国も上記の順位は東京都と同じである。【年報第 8 表】

図 4 死亡数の年次推移 (東京都)

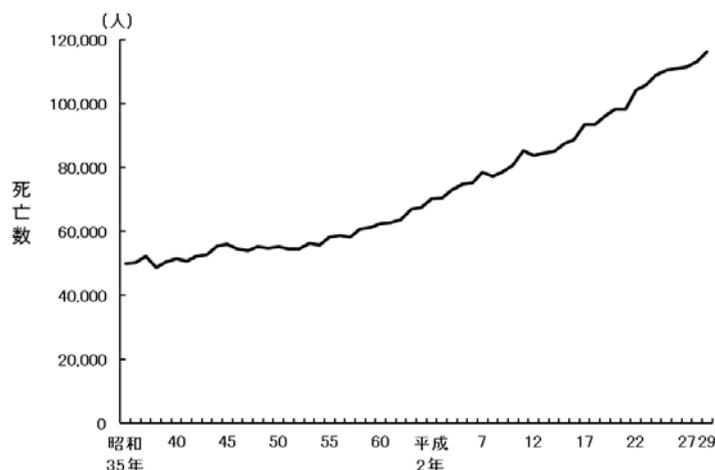
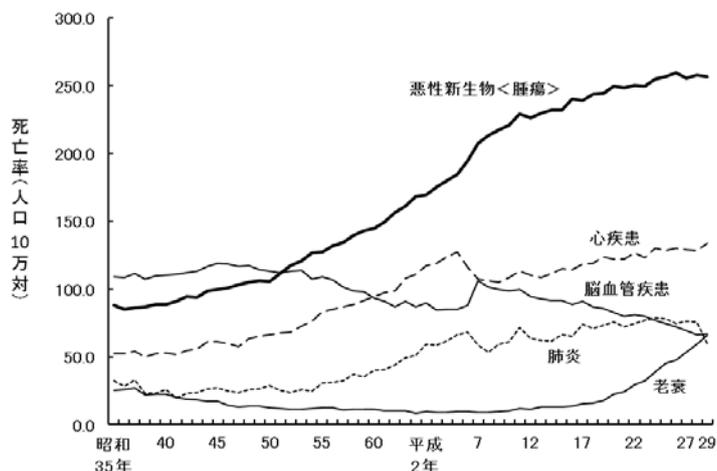


図 5 主要死因別死亡率の年次推移 (東京都)



3 自然増減数

自然増減数は2年連続減少

平成29年の自然増減[※]数は△7,461人で、前年の△1,453人より6,008人減少した。

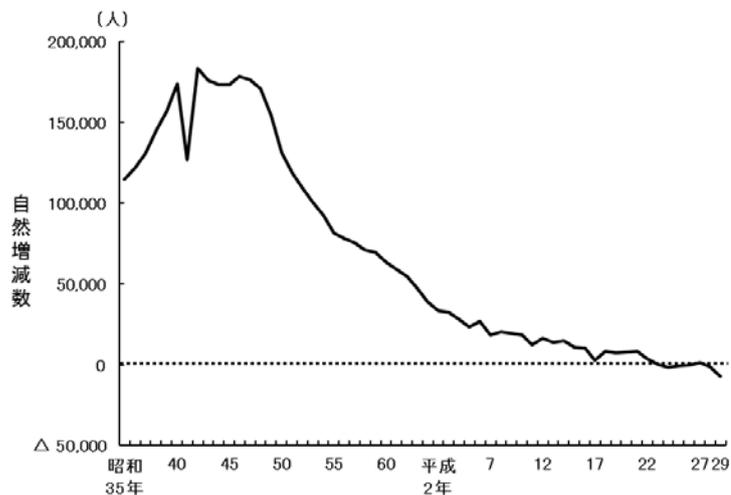
また、人口千人あたりの自然増減数を表す「自然増減率」は△0.6で、前年の△0.1より低下した。

【年報第1表】

※ 自然増減

出生数から死亡数を減じたもの

図6 自然増減数の年次推移（東京都）



4 死産

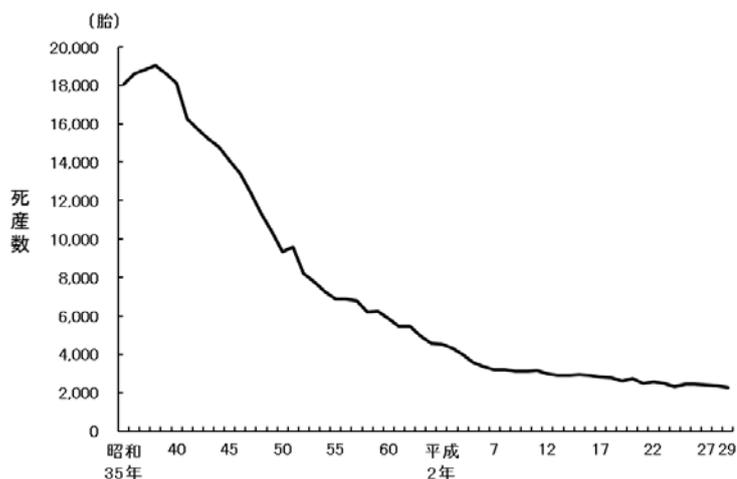
死産数は減少

平成29年の死産数は2,298胎で、前年の2,365胎より67胎（2.8%）減少した。

また、出産千人あたりの死産児数を表す「死産率」は20.6で、前年の20.7より低下した。

【年報第1表】

図7 死産数の年次推移（東京都）



5 婚姻

婚姻件数は減少

平成 29 年の婚姻件数は 84,991 組で、前年の 86,009 組より 1,018 組 (1.2%) 減少した。

人口千人あたりの婚姻件数を表す「婚姻率」は 6.4 で、前年の 6.5 より低下した。【年報第 1 表】

全国の婚姻率は 4.9 で、東京都の方が高い値となっている。

地域別にみると、区部 (7.0) が東京都全体 (6.4) より高く、市部 (4.5)、郡部 (3.0)、島部 (4.3) は東京都全体 (6.4) より低くなっている。

【年報第 4 表】

東京都の平均初婚年齢は夫 32.3 歳 (全国夫 31.1 歳)、妻 30.4 歳 (全国妻 29.4 歳) で、夫・妻とも全国で最も高い。(表 2)

図 8 婚姻件数の年次推移 (東京都)

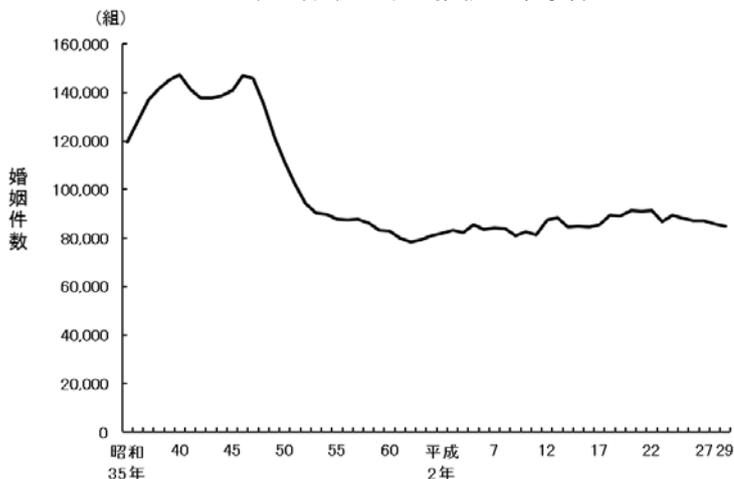


表 2 平均初婚年齢、東京都と全国の比較

	平成 28 年		平成 29 年	
	夫	妻	夫	妻
全国	31.1	29.4	31.1	29.4
東京都	32.3	30.5	32.3	30.4

出典:平成 29 年人口動態統計 (確定数) 婚姻 第 9-12 表 (厚生労働省)

6 離婚

離婚件数は減少

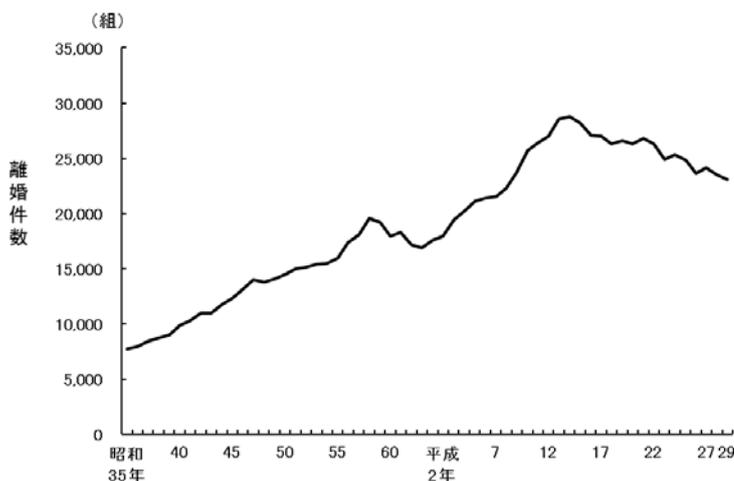
平成 29 年の離婚件数は 23,055 組で、前年の 23,470 組より 415 組 (1.8%) 減少した。

人口千人あたりの離婚数を表す「離婚率」は 1.74 で、前年の 1.78 より低下した。【年報第 1 表】

全国の離婚率は 1.70 で、東京都の方が高い値になっている。

地域別にみると、郡部 (1.90)、島部 (1.75) は東京都全体 (1.74) より高く、区部 (1.73)、市部 (1.55) は東京都全体 (1.74) より低くなっている。【年報第 4 表】

図 9 離婚件数の年次推移 (東京都)



平成29年 区市町村別合計特殊出生率の順位

(別表)

★東京都全域での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	御蔵島村	3.33
2	神津島村	1.88
3	利島村	1.88
4	三宅村	1.75
5	檜原村	1.71
6	東大和市	1.59
7	大島町	1.50
8	稲城市	1.49
9	日の出町	1.47
10	あきる野市	1.44
11	中央区	1.42
12	港区	1.42
13	千代田区	1.41
14	府中市	1.39
15	江戸川区	1.38
16	東久留米市	1.37
17	羽村市	1.37
18	江東区	1.35
19	日野市	1.35
20	調布市	1.34
21	小笠原村	1.34
22	葛飾区	1.34
23	武蔵村山市	1.34
24	荒川区	1.33
25	小平市	1.33
26	昭島市	1.32
27	清瀬市	1.31
28	狛江市	1.30
29	足立区	1.30
30	立川市	1.30
31	墨田区	1.28
32	町田市	1.26
33	八丈町	1.26
34	新島村	1.25
35	青ヶ島村	1.25
36	台東区	1.25
37	国立市	1.25
38	国分寺市	1.23
39	福生市	1.23
40	品川区	1.23
41	三鷹市	1.22
42	東村山市	1.22
43	青梅市	1.22
44	北区	1.21
45	瑞穂町	1.21
46	西東京市	1.21
47	小金井市	1.21
48	多摩市	1.21
49	文京区	1.20
50	練馬区	1.20
51	八王子市	1.19
52	板橋区	1.18
53	大田区	1.17
54	武蔵野市	1.16
55	渋谷区	1.09
56	新宿区	1.08
57	世田谷区	1.07
58	目黒区	1.07
59	豊島区	1.04
60	中野区	1.04
61	杉並区	1.00
62	奥多摩町	0.93

★区部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	中央区	1.42
2	港区	1.42
3	千代田区	1.41
4	江戸川区	1.38
5	江東区	1.35
6	葛飾区	1.34
7	荒川区	1.33
8	足立区	1.30
9	墨田区	1.28
10	台東区	1.25
11	品川区	1.23
12	北区	1.21
13	文京区	1.20
14	練馬区	1.20
15	板橋区	1.18
16	大田区	1.17
17	渋谷区	1.09
18	新宿区	1.08
19	世田谷区	1.07
20	目黒区	1.07
21	豊島区	1.04
22	中野区	1.04
23	杉並区	1.00

★市部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	東大和市	1.59
2	稲城市	1.49
3	あきる野市	1.44
4	府中市	1.39
5	東久留米市	1.37
6	羽村市	1.37
7	日野市	1.35
8	調布市	1.34
9	武蔵村山市	1.34
10	小平市	1.33
11	昭島市	1.32
12	清瀬市	1.31
13	狛江市	1.30
14	立川市	1.30
15	町田市	1.26
16	国立市	1.25
17	国分寺市	1.23
18	福生市	1.23
19	三鷹市	1.22
20	東村山市	1.22
21	青梅市	1.22
22	西東京市	1.21
23	小金井市	1.21
24	多摩市	1.21
25	八王子市	1.19
26	武蔵野市	1.16

★町村部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	御蔵島村	3.33
2	神津島村	1.88
3	利島村	1.88
4	三宅村	1.75
5	檜原村	1.71
6	大島町	1.50
7	日の出町	1.47
8	小笠原村	1.34
9	八丈町	1.26
10	新島村	1.25
11	青ヶ島村	1.25
12	瑞穂町	1.21
13	奥多摩町	0.93

★郡部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	檜原村	1.71
2	日の出町	1.47
3	瑞穂町	1.21
4	奥多摩町	0.93

★島部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	御蔵島村	3.33
2	神津島村	1.88
3	利島村	1.88
4	三宅村	1.75
5	大島町	1.50
6	小笠原村	1.34
7	八丈町	1.26
8	新島村	1.25
9	青ヶ島村	1.25

★区市町村別の合計特殊出生率

区分	合計特殊出生率
東京都全域	1.21
区部	1.20
市部	1.28
郡部	1.28
島部	1.46

注：区市町村別順位については、同率であった場合、表示桁数以下の数値により順位を付している。